

## 上関地点 平成28年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	10月6日 11月2日 12月8日 1月5日 2月2日 3月7日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	7.0~7.2	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	6mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	2月28日 3月14, 28日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			-
海生生物	潮間帯生物	10月17~18日	植物ではイシゲ、イワノカワ科など36種、動物ではアマガイ、イワフジツボなど39種を確認した。			写真1
	海藻草類		クロメ、サビ亜科など35種を確認した。			
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど4種を確認した。			
	スナメリ	10月, 3月 (週1回・計8日)	確認回数は計8回、確認頭数は延べ18頭を確認した。			-
	カクメイ科等の貝類	11月15~17日 2月9~10日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール※2箇所のうち1箇所調査を実施した。			-

※タイドプール: 干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

(その他) 2月のカクメイ科等の貝類調査時、イソコハクガイ科のナギツボ(環境省準絶滅危惧種の貝類)を確認した。

## 【参考】

## 《環境監視等調査計画以外の環境調査》

○カンムリウミスズメ(写真2)

1月に延べ8個体(鼻線島の西), 2月に延べ8個体(祝島の東, 鼻線島の北), 3月に延べ2個体(祝島の北)を確認した。

○カラスバト(写真3)

計画地点では姿および鳴き声は確認されなかった。

なお、鼻線島においては12月に鳴き声を確認。10, 11, 1, 3月に姿および鳴き声を確認した。

【調査写真】

写真1:海生生物 (10月17, 18日)



イシゲ



アマガイ



クロメ



サザエ

写真2:カンムリウミスズメ



(3月3日 祝島の北側)

写真3:カラスバト



(11月16日 鼻線島)

以上